

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 5月 1日

事業所名 重症心身 児童発達支援 ToiToi

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	7	お出掛け等で危険にならないようなスペースが確保できるよう工夫している。 ・朝は十分に確保出来ているが、学校帰りの子が来ると、帰宅者とかち合い、スペース確保ができない。(ToiToi)出来るだけ片付けよう工夫している。 ・狭いが片付けながら対応している。 ・物品の整理を行っている。 ・人数が多い時は、2階等を使用している。	令和6年3月に新事業所に移転。支援スペースを拡充した
	2	職員の配置数は適切である	10	2	・送迎で人手が足りない時もあるが、どうにか人員配置を工夫するなどしている。朝は充分な人員である。 ・多い分個別に対応しやすいと思います。日によって差があります。	令和6年3月に新規スタッフ看護師2名を採用した 今後も多職種の新規採用を進めていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	7	・新しい事業所になれば、解決されるかもしれないが、物が多く、車イススロープも木でできてかけているので、バリアフリーとは言えない。持ち上げるなどの工夫はあり。物も整理する努力はあり。 ・構造化はされていない。バリアフリーや情報伝達は努力しているように思います。 ・本人の私物入れのカゴやケースを活用している。 ・バリアフリーがまだ行き届いていない。階段とかを改善した方がよい。	・新社屋に移転。整理整頓に心がける
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	6	・ケガ等がないように、物を片付けたり、配置に配慮している。 ・季節に応じた、天井飾りあり。おもちゃや絵本も多く、キッズパッドもあり、幅広い遊びを提供出来ていると思う。 ・動く子がいる中、危険は多いように思います。戸外に出たり等工夫しています。 ・(ToiToi)物が多すぎて何がどこにあるか、又、どこに片したらいいのかわからない。	・新社屋に移転。整理整頓に心がける
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	1	・次回に向けてのアセスメントは少々来ていない所があるが、参画していると思う。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11		・毎年行っており、スタッフへの周知し、改善策はないかの話し合いがされている。	・評価を見える化し、スタッフ間で共有するようにする
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	・HPでの公開はされている。ToiToiだよりにはのってないと思います。ページに飛ぶQRコードとか作れるといいと思います。	・HPに載せ、広報していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10		・業務改善に繋がったと思うのですが、相談窓口の掲示がなくなったと思います。継続する方法を考えていきたい。 ・できているものとできていない(必要性の優先度を感じない)ものがある。	・今後は、その評価点を改善していくことに努める
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11		・ウェブ研修もありますし、対面研修も多いと思います。ありがたいです。	
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11		・子どもやその家族に対して、聞き取りの力もあると思いますし、ToiToiという大きなチームでの話し合いは多いと思います。	・今後は、そのニーズ・課題をスタッフ全体に共有していく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	3	・アセスメントツールはあると思うのですが、使用頻度はあまりなされていないと思います。	・ADL評価とともに個別のアセスメントを作成する
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11		・子どもに対して情報収集をしっかり行い、子どもの「その子らしさ」に寄り添った支援内容の記載がされていると感じます。	・個人のニーズの把握、医療的ケア等を適宜見直ししていく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		・記録も細かく出来ていると思います。	・個別の医療的ケアの日課に加え、プログラムを設定し、個別・集団活動に参加できるよう工夫する
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	2	・頑張っていると感じます。 ・チームにより。	・保育士、看護師で連携し、プログラムを作成する
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	・行事によって四季を感じますし、イベントはスタッフもワクワクしています。子ども達に少しでも伝わっていると嬉しい。 ・臨機応変に行っている。	・四季折々の活動プログラムを作成し、固定化しないように努める

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
な支援の提供	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11		・発達がゆっくりの子どもが多いので、長期的な支援が多く変化を感じにくいとは思いますが、各スピードに合わせた目標設定があり、中間評価の際に小さなチームでアセスメントしており、個のあそび、集団のあそびの工夫がみられる。	・個別の医療的ケアの日課に加え、プログラムを設定し、個別・集団活動に参加できるよう工夫する
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1	・新規の子どもがくると、役割分担をし、支援内容確認するのが習慣で出来ていると感じる。	・複数多職種で担当分けを行い、チームで支援を行っていく
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	4	・その日のうちに出来なかったとしても、翌日の朝、ミーティングで話し合ったりするので出来ていると感じる。 ・時間が合わないため、翌日の朝、ミーティング等で共有されている。 ・朝のミーティングで、前日の利用者の様子を情報共有している。	・朝のミーティングでの振り返りを行い、情報共有に努める
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1	・出来ていると感じる。 ・業務日誌、連絡帳の記入し、記録している。	・スタッフ間での情報伝達のムラをなくすためにSNSを利用しタイムラグなく伝わるように努める
	20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11		・出来ていると感じる。 ・担当表用紙もあり、各スタッフが確認できる工夫もされている。各事業所との情報共有できている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11		・出来るだけ参加するようにしている。又、事前にミーティングをして、事業所の情報収集を行っている。	・児童発達管理責任者や医療的ケアがある場合には看護師等、その場に合わせた人選を行い会議に参加できるようにする
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10		・連携していると思う。	・今後も、密に連携をとり支援体制を組んでいく
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	11		・会議等で連携していると思う。	・今後も、密に連携をとり支援体制を組んでいく
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11		・整えていると思う。	・今後も、密に連携をとり支援体制を組んでいく
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11		・会議等で連携していると思う。	・今後も、密に連携をとり支援体制を組んでいく
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11		・会議等で連携していると思う。	・今後も、密に連携をとり支援体制を組んでいく
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11		・会議等で連携していると思う。	・今後も、密に連携をとり支援体制を組んでいく
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	2	・近くのもろみ保育園と交流したり、公園で近所の子どもと遊んだりしている。 ・少ない。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	1		・沖縄市の自立支援会議に参加している
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11			・情報伝達のムラをなくすためにSNSを利用しタイムラグなく伝わるように努める
保護者への説明責任	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	3	・必要な子どもに対しては、チームで話し合いながら行う姿勢はあります。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			・引き続き説明を行っていくと共に、報酬改定で利用料負担等に変動があった場合には随時丁寧な説明を行っていく
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10			・引き続き丁寧な対応を心掛けると共に、必要時には関係機関につなげる
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11		・送迎時や帰りの少しの時間で話しやすい雰囲気作りをスタッフ個々が出来ていると思う。 ・不定期だが、適宜対応していると思います。	・送迎時や申し送り時など気軽に相談できる雰囲気作りを努める
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	7	・コロナの時期もあったので、これから増やしていく。 ・なかなかコロナ禍で出来ていない。 ・コロナ前は、事業所のイベントを通して、保護者同士の交流もあった。活動制限も落ちてきたので再開できたら良いと思う。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11		・迅速に振り返りを行う	・迅速に振り返りを行い、改善策を提供できるよう対応する
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	1	・ToiToiだよりを通じて行っている。	・事業所での活動が保護者に伝わりやすいよう、お知らせを定期的発行している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10		・鍵付きの戸棚で保管する	・個別の携帯などに個人情報を残さないことを徹底する
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11		・保護者からのヒアリングを重視する	・情報伝達のムラをなくすためにSNSを利用しタイムラグなく伝わるように努める
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	2	・地域自治体の催し物に参加。 新社屋落成時には地域住民等を招待し内覧会を開催した	・今後も地域に根差した開かれた事業所を目指し、催し物を企画していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11		・事務所に常時閲覧できるようにしている	・各マニュアルを作成しているが、保護者の方々への周知が足りない。今後は、HP掲載や、閲覧できるように検討する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11		・地震・火事の避難訓練を開催	・年2回、避難訓練を開催。また、防災計画を修正して作成中
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11		・主治医からの指示書作成を依頼している	・指示書の年度更新を行う。また、指示内容が変更の際には適宜指示書の更新依頼をお願いする
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11		・スタッフ全員が確認しやすいようにわかりやすい所に紙を貼っている。	・適宜見直し、お子様のアレルギー状態に変化はないか見直しをする
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11		・多職種で振り返りを行う	・随時、振り返りを行うのと、ミーティング時に回覧し、周知に努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11			・事業所内研修を開催。外部研修にも率先して参加することを推奨する
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11		・申請書と個別支援計画に記載している	・依頼書のアップデートを行う

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 重症心身 児童発達支援 ToiToi 保護者等数(児童数) 5 回収数 5 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4	1				令和6年3月より新店舗に移転し、スペースを拡充した。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	5					新規採用として看護師を2名採用した
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1				令和6年3月より新店舗に移転し、スペースを拡充した。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5					・個別の医療的ケアの日課に加え、プログラムを設定し、個別・集団活動に参加できるよう工夫する
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	5					・多職種間でチームで計画に携わるようにしている
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1				・ご家族、ご本人の意向に沿えるように支援計画を作成していく
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5					・支援計画に添い、日課の版、活動プログラムを作成する
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	5					・四季折々の活動プログラムを作成し、固定化しないように努める
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2				
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	5					・引き続き説明を行っていくと共に、報酬改定で利用料負担等に変動があった場合には随時丁寧な説明を行っていく
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	5					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている		2		3		・今後、活動プログラムを企画する
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5					・送迎時や申し送り時など気軽に相談できる雰囲気作りに努める
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	5					・情報伝達のムラをなくすためにSNSを利用しタイムラグなく伝わるように努める
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	4	1				・今後要課題
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	5					
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5				丁寧に対応して下さっています。	・引き続き情報伝達に努める	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5					・事業所での活動が保護者に伝わりやすいよう、お知らせを定期的発行している
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	5					・鍵付きの戸棚で保管する
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	4			1		・各マニュアルを作成しているが、保護者の方々への周知が足りない。今後は、HP掲載や、閲覧できるように検討する
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	5					・年2回、避難訓練を開催。また、防災計画を修正して作成中
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	4			1		
	23	事業所の支援に満足している	5				本当に助かっています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 1日

事業所名 重症心身 児童発達支援 ToiToi

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	2	令和6年3月より新店舗に移転し、スペースを拡充した。	・お出掛け等によって危険にならないようなスペース確保を工夫している。 ・日により差がある。
2	職員の配置数は適切である	6	4		新規採用として看護師を2名採用した	・多いが、支援内容を考えれば適切。全介助者が多いため。 ・多職種の新規採用を進めていく
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	3	2	令和6年3月より新店舗に移転し、スペースを拡充した。	
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	1		
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1			・評価を見える化し、スタッフ間で共有するようになる
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		1	令和6年3月より新店舗に移転し、スペースを拡充した。	・HPに載せ、広報していく
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10			新規採用として看護師を2名採用した	・今後は、その評価点を改善していくことに努める
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			令和6年3月より新店舗に移転し、スペースを拡充した。	
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10				・今後は、そのニーズ・課題をスタッフ全体に共有していく
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	1	・ADL評価とともに個別のアセスメントを作成する	
11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1			・保育士、看護師で連携し、プログラムを作成する
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1		・コミディカルで検討を重ねていく	・四季折々の活動プログラムを作成し、固定化しないように努める
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2	1		・臨機応変にその日によって対応している。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		・日課の版を作成しスケジュールを調整する	・個別の医療的ケアの日課に加え、プログラムを設定し、個別・集団活動に参加できるよう工夫する
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2		・朝のミーティングでの時間をとる	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	2		・ジャンディーなどを活用し情報共有、支援の振り返り等を共有していく。 ・朝のミーティングで前日の利用児童の様子、支援内容の情報共有や連絡網で全員が共有できる体制を取っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2		・複写式の連絡ノートを使用している	・複写式の連絡ノートを簡略化し、正確に記録が取れる様改良中である
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1			・個人のニーズの把握、医療的ケア等を適宜見直していく
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	2			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			・学校の送迎時には申し送りを密に行うようにしている	・年間行事などの把握につとめる。学校側主催の連絡会議に参加し連携に努める
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9			・主治医に指示書の作成を依頼している。	・今後も、訪問看護や保育所等訪問等と密に連携をとり支援体制を組んでいく
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9				・今後も、密に連携をとり支援体制を組んでいく
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9				・今後も、密に連携をとり支援体制を組んでいく
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		1	・PTやOT等機能訓練を引きつけるよう連携をとる	・今後も、密に連携をとり支援体制を組んでいく
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	7	2		・外出が制限されている期間が長かったので、あまり行えなかった。計画はするようにしている。 ・以前は、交流ありましたが、感染症の行動制限も落ち着いているので、再開できるというと思います。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3			
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			・連絡ノートやSNSを活用	・直接会えない時には、SNSなどを活用し、お知らせや情報交換に努める
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	1		
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			・契約時、更新時や質問等があった時には適宜説明の機会を設ける	・引き続き説明を行っていくと共に、報酬改定で利用料負担等に変動があった場合には随時丁寧な説明を行っていく
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			・送迎時や申し送り時など気軽に相談できる雰囲気作りに努める	・引き続き丁寧な対応を心掛けると共に、必要時には関係機関につなげる
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3	2		・以前は、事業所のイベントを通して保護者同士の交流があった。 コロナ禍で現在活動していない。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			・迅速に振り返りを行う	・迅速に振り返りを行い、改善策を提供できるよう対応する
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			・事業所での活動が保護者に伝わりやすいよう、お知らせを定期的発行している	
35	個人情報に十分注意している	10			・鍵付きの戸棚で保管する	・個別の携帯などに個人情報を残さないことを徹底する
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			・保護者からのヒアリングを重視する	・情報伝達のムラをなくすためにSNSを利用しタイムラグなく伝わるように努める
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2	1	・地域自治体の催し物に参加。新社屋落成時には地域住民等を招待し内覧会を開催した	・今後も地域に根差した開かれた事業所を目指し、催し物を企画していく

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1		・事務所に常時閲覧できるようにしている	・各マニュアルを作成しているが、保護者の方々への周知が足りない。今後は、HP掲載や、閲覧できるように検討する
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			・地震・火事の避難訓練を開催	・年2回、避難訓練を開催。また、防災計画を修正して作成中
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10				・事業所内研修を開催。外部研修にも率先して参加することを推奨する
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10			・申請書と個別支援計画に記載している	・依頼書のアップデートを行う
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			・アレルギー一覧表を作成し、掲示している	・適宜見直し、お子様のアレルギー状態に変化はないか見直しをする
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			・多職種で振り返りを行う	・随時、振り返りを行うのと、ミーティング時に回覧し、周知に努める。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 5月 1日

事業所名 重症心身 児童発達支援 ToiToi 保護者等数(児童数) 14 回収数 14 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	3	1	・Palとかは見てないので…。ToiToiはいいと思っています。 ・今はスペースは少し小さいと思うが、新しく建築中の事業所は広そうで楽しみです。	令和6年3月より新店舗に移転し、スペースを拡充した。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1		・看護師、保育士、支援員の方々も沢山いて、充分だと思います。 ・いつも職員の人数多いなと感じています。	新規採用として看護師を2名採用した
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	6	1	・見てないのであまりわかりません。(スイマセン) ・今でもバリアフリーの配慮はされていると思うが、新事業所は更に特化していると思うので楽しみです。	令和6年3月より新店舗に移転し、スペースを拡充した。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14			・娘の能力や状況に沿って、短期・中期・長期と目標設定がされていると思う。	・個別の医療的ケアの日課に加え、プログラムを設定し、個別・集団活動に参加できるよう工夫する
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	3		・障がいや身体の特徴を十分に理解し、プログラムされていると思う。	・四季折々の活動プログラムを作成し、固定化しないように努める
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	4	1	・わからない。 ・地域の行事や児童館等に出向き、活発に活動していると思う。	
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1		・支援内容など、しっかり説明してくれていると思う。	・引き続き説明を行っていくと共に、報酬改定で利用料負担等に変動があった場合には随時丁寧な説明を行っていく
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	2		・送迎時など、毎日の状況や、発達やケアに必要な情報を伝えてくれ、十分に共通理解ができていると思う。 ・まだ言葉が出ない為、何か小さなケガでも連絡していただき助かってます。	・情報伝達のムラをなくすためにSNSを利用しタイムラグなく伝わるように努める

保護者への説明等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	1	・事業所側から、支援方法の提案などしてくれて助かる。 ・保育園の事について、色々話を聞いてくださりありがとうございます。	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	5	3	・コロナ明け間もないので、保護者交流の機会は今は少ないが、それ以前は、よく企画してくれていた。	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	4		・職員間でも情報共有がしっかりされていて、いつも適切に対応して頂いていると思います。	・迅速に振り返りを行い、改善策を提供できるよう対応する
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14			・専用LINEにより、連絡や情報伝達など、以前よりスムーズになっていると思う。	・送迎時や申し送り時など気軽に相談できる雰囲気作りに努める
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1		・毎月のお便りで日中のようすを掲載してくれたり、専用LINEで連絡事項や情報を発信してくれるので、日頃の活動がとても伝わります。 ・連絡帳が細かく書いてある為、良いと思います。	・事業所での活動が保護者に伝わりやすいよう、お知らせを定期的発行している
14	個人情報に十分注意しているか	13	1			・鍵付きの戸棚で保管する	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	2	2		・各マニュアルを作成しているが、保護者の方々への周知が足りない。今後は、HP掲載や、閲覧できるように検討する
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	3	1	・不明。	・年2回、避難訓練を開催。また、防災計画を修正して作成中
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14			・毎日、表情良く過ごしていて通所をとても楽しみにしています。 ・ToiToi行く人？と聞くと、ハイ!!と答えます。	
	18	事業所の支援に満足しているか	14			・様々な提案やアドバイスを積極的にしてくださり、いつも感謝しています。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。